

グラウンドワーク三島



社会起業家育成塾

受講生募集

平成27年9月21日(月)～9月23日(水) 10:00～16:30

3日間コース、受講料 45,000円、定員30人



特定非営利活動法人グラウンドワーク三島は、静岡県三島市の水辺自然環境の再生と改善を目的として、1992年に活動を開始し、現在までに、三島市内60か所以上において、住民主導による多様な「まちづくりプロジェクト」を展開してきました。

今回、これらの実践的な現場モデル・成功モデルのノウハウや戦略的アプローチ、NPOビジネスの仕組みなどを学ぶための「社会起業家育成塾」を開講いたします。

近年、自らの知識や技能、アイデアを活かし、ビジネスの手法を活用して、社会的な課題解決に取り組む、「社会的企業」(ソーシャルビジネス)が注目されています。

今回の「社会起業家育成塾」では、自分のまちや地域に、新たにNPOや社会的企業の起業を目指す人や、先進的な知識知・専門知を学びたい人を対象として、ソーシャルビジネスの理念や基礎知識を学んでいただくとともに、実効性の高い「事業プラン」を作成するスキルや実践的なマネジメント力、ビジネス力の習得に関わる専門的な知識を身につけていただきます。

福祉・教育・環境・労働・海外支援などといった、複雑化・多様化する社会的課題解決へのニーズが非常に高まってきています。事業性を確保しながら、これらの課題を解決していく、「社会起業家」を目指している方や、その知識を学びたい方の積極的な参加をお待ちしております。

【申込み・問合せ】

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 (担当: 村上、後藤)

〒411-0857 三島市芝本町7-11

TEL (055)983-0136/FAX (055)973-0022

E-mail info@gwmishima.jp

URL <http://www.gwmishima.jp/>



【応募方法】

応募用紙をFAX（055-973-0022）またはメール（info@gwmishima.jp）にて
グラウンドワーク三島事務局（担当：後藤）に申込み下さい。

社会起業家育成塾 応募用紙

主催：NPO 法人 グラウンドワーク三島

平成27年9月21日（月）～9月23日（水）

申込日 平成27年 月 日

フリガナ			
氏名			
生年月日	年 月 日	性別	男 ・ 女
所属			
現住所	〒		
電話番号（自宅）		電話番号（携帯）	
E-mail（パソコン）			
E-mail（携帯）			
緊急連絡先氏名			
緊急連絡先住所	〒		
続柄		緊急連絡先電話番号	
今回の研修で 学びたいこと			

【研修カリキュラム・スケジュール】

1 日目 9/21 (月) 商工会議 所・文化会 館等	10:00～10:30 <u>オリエンテーション</u> 10:30～11:30 <u>「NPO・社会的企業概論」</u> 国内外の先進的なNPOや社会的企業の実践事例、マネジメント・ビジネスの基礎知識を学ぶ。 11:30～12:30 <u>「グラウンドワーク三島のコミュニティ・ビジネスの実践とノウハウ」</u> コミュニティ・ビジネスにより、もうかる・かせぐNPOとまちをつくる。 12:30～13:30 昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング） 13:30～15:30 <u>「グラウンドワーク三島のコミュニティ・ビジネスの視察と体験学習」</u> ＊空き店舗活用ビジネス（三島街中カフェ） ＊農業再生ビジネス（箱根西麓） ＊環境資源活用ビジネス（エコツアー） 15:30～16:30 <u>「質疑応答、ディスカッション」</u> 《講師（終日）：グラウンドワーク三島専務理事／都留文科大学教授 渡辺豊博》 16:30～ <u>自由参加</u>まちづくりせせらぎ談義・交流会（会費制）
2 日目 9/22 (火) 三島商工会 議所・文化 会館等	10:00～10:30 <u>オリエンテーション</u> 10:30～12:30 <u>「イベント企画とお金」</u> イベントの企画立案をする。集客は？お金は？など皆さんが知りたい事例をケーススタディの形で習得 《講師：グラウンドワーク三島職員（第一線にて活動をしている当法人職員が担当）》 12:30～13:30 昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング） 13:30～15:30 <u>「助成金の書き方講座」</u> 多様な資金をゲットするための資金調達の秘訣と書き方ポイントの伝授 《講師：グラウンドワーク三島社会起業塾塾長 前川卓三》 15:30～16:00 助成金申請書記入のワークショップ 16:00～16:30 質疑応答
3 日目 9/23 (水) 三島商工会 議所・文化 会館等	10:00～11:30 <u>「社会的企業の役割とは」</u> 社会的企業の目的、使命、概念、現状を踏まえて、その役割と意義、課題、可能性、発展性などを学ぶ。 11:30～12:30 昼食休憩（講師を囲んでのランチ・ミーティング） 12:30～15:00 <u>「ビジネスプラン作成・ワークショップ」</u> 現在までに学習した多様な知識を活用し、自分が起業・創業したいと考えている事業を前提として開業・営業・管理運営していくためのビジネスプランの作成 15:00～16:30 <u>「ビジネスプラン作成と発表」</u> 実際に事業計画書を作成する 《講師：グラウンドワーク三島社会起業塾塾長 前川卓三》 16:30～17:00 <u>「まとめ・講評」</u> 地域資源を発掘し付加価値を付けて販売するNPOビジネスのアプローチを確認 《講師：グラウンドワーク三島専務理事／都留文科大学教授 渡辺豊博》

※実践的な講義形式を重視、受講生の質疑応答に臨機応変に回答、対話方式の講義形式

個人ごとの課題解決への助言・指導を重視、夜の懇談を含め本音の議論を重視など

グラウンドワーク三島の先進性とは

グラウンドワーク三島は、英国で始まったグラウンドワークを全国に先駆けて導入し、市民・NPO・企業・行政とのパートナーシップによる多様な環境まちづくり活動を通して、実践的な環境教育、環境再生、地域再生、農業再生、コミュニティ・ビジネスなどの現場モデルを創りあげてきました。

平成 22 年には、これらの「現場モデル」を全国に普及、発展させるために、内閣府の地域社会雇用創造事業として、「グラウンドワーク・インターンシップ」を実施し、NPO や社会的企業の担い手 2,500 名以上を育成しました。「グラウンドワーク・インキュベーション」では、100 名以上の起業家を支援しました。現在も彼らは、地域現場において、地域資源を活用した多様な活動・ビジネスを展開しています。

多様な実践現場を生きた教材として活用し、地域ビジネスや NPO マネジメントなどについて学びながら、自分の「仕事」そして「キャリア」を創造しませんか？

グラウンドワーク三島の実践地例



よみがえった清流「源兵衛川」



境川・清住緑地での田植え体験



みどり野ふれあいの園



せせらぎシニア元気工房での作業風景



松毛川での自然観察会



三島街中カフェ 3 号店「せせらぎ源兵衛」

～講師プロフィール～



渡辺 豊博（わたなべ とよひろ）

静岡県庁職員を経て、2008 年 4 月より都留文科大学文学部社会学科教授。1992 年、故郷・三島市の水辺環境改善を目的として、市民・NPO・行政・企業がパートナーシップを組む、英国で始まったグラウンドワーク（環境改善活動）を取り入れた NPO 法人グラウンドワーク三島を立ち上げ、現在専務理事を務める。著書に、「NPO 実践講座」「環境共生の都市づくり」（ぎょうせい・共著）、「清流の街がよみがえった」（中央法規出版）、「英国発グラウンドワークー『新しい公共』を実現するために」（春風社・共著）、「富士山への招待ーNPO が富士山と地域を救う」「三島のジャンボさん ミスター・グラウンドワーク」「失敗しない NPOーグラウンドワーク三島の 20 年と英国に学ぶー」（春風社・単著）、「共助社会の戦士たちーNPO・社会的企業 成功への処方箋」（静岡新聞社・単著）、「富士山の光と影」（清流出版・単著）などがある。



前川卓三（まえかわ たくそう）

早稲田大学大学院経済研究科修了

大学卒業後大手紡績会社にて 12 年半勤務後、海外取引のベンチャー企業を立ち上げる。外資系コンサルタント企業勤務を経て、グラウンドワーク三島「内閣府地域雇用創造事業」10 億円プロジェクトに参加。豊富なビジネス経験を活かして、200 人以上のビジネスプランの作成をサポート。その中から多くのビジネスコンペ受賞者を輩出した。特定非営利法人グラウンドワーク三島管理部長、社会企業大学副学長、総務省「シニア地域人づくり」講師等を経て現在グラウンドワーク三島起業社会起業塾塾長を務める。

翻訳：「The Groudwork Movement - Its role in neighbourhood renewal-」（英国グ

ラウンドワークの活動）